



TITLE:

表紙・その他

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・その他. 物理化学の進歩 1938, 12(3)

ISSUE DATE:

1938-06-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/46142>

RIGHT:

第十二卷

第三册

# 物理化学の進歩

編輯主幹 理學博士 堀 場 信 吉

## 目 次

### 原 報(歐文)

- 還元ニッケルの重水素吸着に就て ..... 飯 島 俊 一 郎...83  
 還元ニッケルに依るメタンの分解 ..... 窪 川 眞 男...90

### 紹 介

- 氣體分子運動論的に見たる火花放電の理論 ..... 後 藤 康 平...81  
 氣體吸着の統計力學 (I) ..... 外 山 修...91

### 抄 録

16. 衝突に於ける分子振動の持続性(109)    17. 吸着せるアセトンの光分解(109)    18. Hg 蒸氣  
 増感によるエタンの光分解(110)    19. ウラニウム鹽の光増感作用と螢光(111)    20. Na 蒸氣と有  
 機ハライドとより遊離基の生成(111)    21. 溶液中の一分子分解反應の動力學(112)    22. 液相に  
 於ける不均一系反應. 四鹽化炭素内の銅と硫黄の反應(112)    23. ハロゲン化メチルの加水分解(113)  
 24. 雲母の平滑面上の瓦斯吸着(113)    25. 炭素の酸化(114)    26. 不均一反應に於ける觸媒の定  
 常狀態の研究 I (114)

---

日本物理化学研究會刊行

京都帝國大學理學部物理化学研究室內

## 日本物理化学研究會役員 (順序不同)

會 長	大 幸 勇 吉				
顧問	櫻 井 鏡 二	藤 井 榮 三 郎	上 田 宗 重		
商 議 員	安 達 十 九	荒 勝 文 策	千 谷 利 三	花 島 孝 一	
(ABC順)	波 多 野 貞 夫	堀 場 信 吉	堀 内 壽 郎	市 川 貞 治	
	飯 盛 里 安	城 野 和 三 郎	片 山 正 夫	菊 地 正 士	
	木 村 正 路	喜 多 源 逸	松 野 吉 松	松 岡 俊 躬	
	仁 田 勇	鮫 島 實 三 郎	佐 々 木 中 二	四 手 井 次 太 郎	
	田 丸 節 郎	宮 永 齊			
理 事 長	濱 田 耕 作				
常務理事	堀 場 信 吉				
理 事	松 井 元 興	片 山 正 夫	喜 多 源 逸	仁 田 勇	
監 事	中 村 恒 三 郎	入 江 巖	窪 川 眞 男	田 村 幹 雄	
主 事	守 谷 健 一				

名譽會員……………松 井 元 興

## 「物理化学の進歩」編輯役員

編 輯 主 幹	堀 場 信 吉			
編 輯 幹 事	田 村 幹 雄			
編 輯 委 員	李 泰 圭	後 藤 康 平	萩 原 篤 太 郎	
	久 米 泰 三	外 山 修		



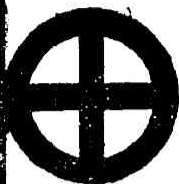
## 日本物理化学研究會 賛 助 會 員 (昭和十三年五月現在, ABC 順)

## 個人賛助會員

江 副 孫 右 衛 門 殿	濱 口 富 三 郎 殿	蒲 田 政 次 郎 殿	龜 田 利 吉 郎 殿
木 俣 泰 清 殿	金 平 洙 殿	中 村 ム キ 殿	清 水 侍 郎 殿
鈴 木 市 之 助 殿	瀧 野 孫 二 殿	津 田 三 郎 殿	上 品 五 一 郎 殿
山 本 信 夫 殿			

## 團體賛助會員

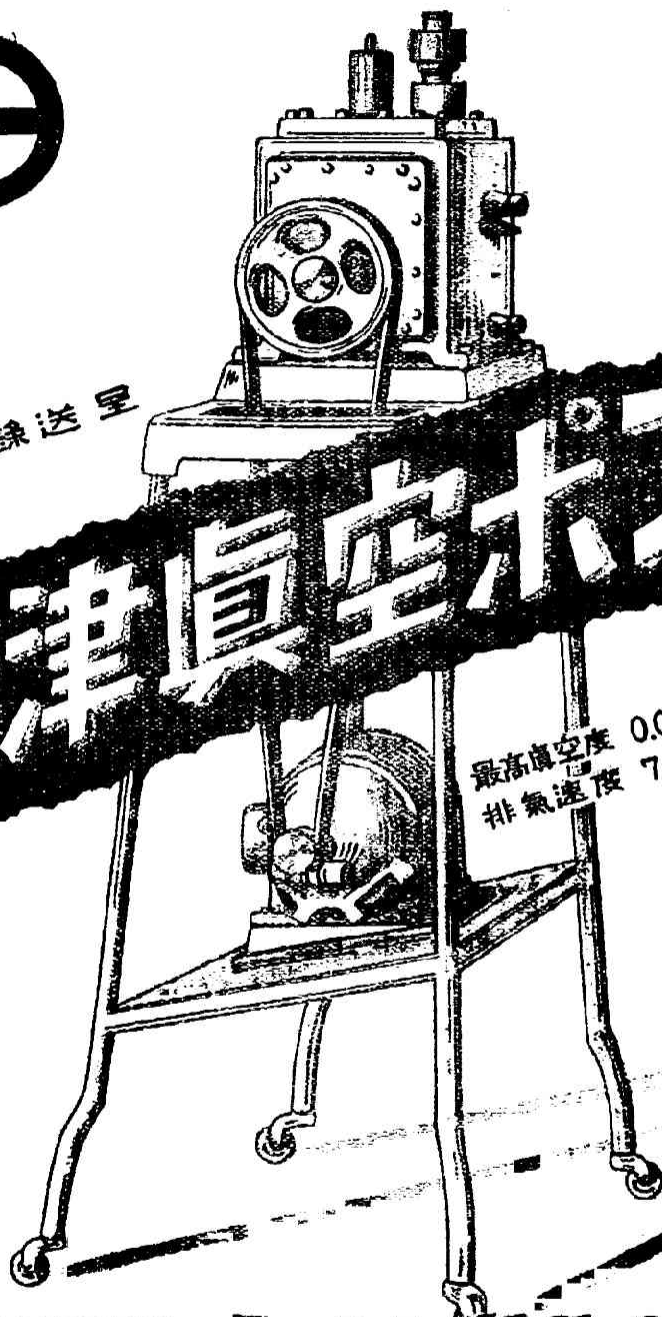
旭ベンベルグ絹絲株式會社殿	朝鮮窒素肥料株式會社殿	第一工業製藥株式會社殿
大日本塗料株式會社殿	古河電氣工業株式會社殿	イソライト工業株式會社殿
川西機械製作所殿	川崎造船所殿	國産工業株式會社殿
コロイド製藥株式會社殿	九州曹達株式會社殿	滿洲電業株式會社殿
南滿洲鐵道株式會社殿	三菱電機株式會社殿	日本電池株式會社
日本板硝子株式會社殿	日本化學工業株式會社殿	日本光學工業株式會社殿
日本クロス工業株式會社殿	日本石油株式會社殿	日本製絲株式會社殿
日本香料藥品株式會社殿	日本染料製造株式會社殿	日本曹達株式會社殿
日本水素工業株式會社殿	岡田電氣商會殿	オリエンタル寫眞工業株式會社殿
大阪窯業セメント株式會社殿	ラサ工業株式會社殿	堺化學工業株式會社殿
島津製作所殿	新興化學研究所殿	鹽野香料株式會社殿
白石工業株式會社殿	住友電線製造所殿	高砂香料株式會社殿
東邦瓦斯株式會社殿	東海電機製造株式會社殿	東京電氣株式會社殿
わかもと本舗殿		



型録送呈

# 島津真空ポンプ。

最高真空度 0.0001mmHg柱  
排気速度 75-80ℓ毎分



京都・東京  
福岡・大阪

## 島津製作所

# THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by Prof. S. Horiba, Kyôto Imperial University

---

Vol. XII, No. 3

June, 1938

---

## Contents

### Originals

Shun-ichirô Iijima : On the Adsorption of Deuterium on Reduced Nickel .....	83
Masao Kubokawa : The Decomposition of Methane on Reduced Nickel .....	90

### Reviews

Rempei Goto : Kinetics of Spark Discharge .....	81
Osamu Toyama : Statistical Mechanics of the Adsorption of Gases. ....	91

Abstracts .....	109
-----------------	-----

---

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan

## 賛助會員各位

謹啓 時下愈々御清穆大賀の至りに奉存候  
 陳者先般日本物理化學界全般の絶大なる御支持の下に設立  
 仕候日本物理化學研究會の儀に關し甚だ勝手がましき御賛  
 助方御願申上候處下記の如く各方面より多數の御後援を賜  
 り感銘の極に有之候  
 先は右御禮迄如斯御座候 敬具

昭和十三年六月

日本物理化學研究會

## 事業資金寄附者芳名

(1,000圓以上、申込順)

昭和十三年五月末現在

金	30,000	圓也	藤井榮三郎殿
金	14,000	圓也	堀場信吉殿
金	1,000	圓也	上昌五一郎殿
金	1,000	圓也	日本製鍊株式會社殿
金	1,000	圓也	日本香料藥品株式會社殿
金	1,000	圓也	第一工業製藥株式會社殿
金	2,000	圓也	日本クロス工業株式會社殿
金	1,000	圓也	大日本塗料株式會社殿
金	1,000	圓也	堺化學工業株式會社殿
金	1,000	圓也	白石工業株式會社殿
金	2,000	圓也	龜田利吉郎殿
金	1,000	圓也	木俣泰清殿
金	1,000	圓也	蒲田政治郎殿
金	1,000	圓也	東京電氣株式會社殿
金	1,000	圓也	津田三郎殿
金	1,000	圓也	瀧野孫二殿
金	1,000	圓也	金季洙殿
金	1,000	圓也	わかもと本舖殿
金	1,000	圓也	川西機械製作所殿
金	1,000	圓也	南滿洲鐵道株式會社殿
金	1,000	圓也	旭ペンベルグ絹絲株式會社殿
金	12,500	圓也	藤井榮三郎殿(藤井獎學基金)
金	1,000	圓也	濱口富三郎殿
金	1,000	圓也	中村ユキ殿
金	5,000	圓也	日本電池株式會社殿

小計 金 84,500 圓也

名譽會員	10,000 圓以上
賛助會員	1,000 圓以上

## 「物理化学の進歩」購読會員規定假案

- 第一條 日本物理化学研究会ノ機關誌タル本誌ノ直接購讀者ヲ購読會員トス
- 第二條 本誌ハ隔月(偶數月末日)發行トシ下記内容ヲ有ス  
(一) 原報又ハ論說 (二) 紹介又ハ講義 (三) 抄録
- 第三條 會費ハ年參圓トシ前納スルモノトス。途中申込者ハ申込ノ月ヨリ之ヲ納入スルモノトス
- 第四條 終身購読會費ハ金五拾圓トシ既納ノ會費ヲ包含セズ
- 第五條 既納ノ會費ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返却セズ  
他ニ別冊トシテ物理化学文献集(新着外國雜誌ヨリ拔萃ス)ヲ毎月發行シ會費(年一圓)ニテ會員ニノミ頒布ス
- 本會ハ又吾國物理化学海外紹介ノ目的ヲ以テ別ニ年三回歐文號ヲ編纂シ本誌所載ノ「原報」及ビ吾國ニ於ケル物理化学研究ノ抄録ヲ掲載ス(會費年二圓)
- △ 會員希望者ハ氏名、雜誌送附先ヲ明記シ振替京都六〇四七番ヘ會費ヲ拂込マレタシ

## 購読會員會費領收

購 讀 會 費 自昭和十三年四月一日 至昭和十三年五月卅一日 (餘額略 來着順)

甲 山 長 小 中 山 福 仲 芳 九 渡 平 宇 猪 怪 長	南 野 岡 野 浦 川 口 尼 川 村 山 邊 川 都 股 川 谷	高 校 太 高 工 政 小 善 克 幸 五 謙 文 宮 陽 茂 川	金 澤 學 廣 島 樋 島 渡 近 杉 多 西 坂 三 吉 山 旭 小	澤 高 工 院 島 高 工 泉 正 已 孝 幸 餘 公 正 治 守 永 元 四 郎 延 岡 工 場 宗 三 郎	弘 前 松 大 立 長 青 高 近 牧 板 岸 大 山 高	工 校 高 校 入 瀬 商 會 新 井 藤 野 倉 本 連 鋸 山 野 恒 太 郎 津 榮 二 郎	第 一 南 松 八 木 方 一 糸 會 竹 日 本 佐 小 三 馬 照 根 清 舟	高 校 工 校 高 三 井 卓 丸 平 二 雄 一 禮 谷 公 光 田 秋 良 二 廉 平 渡	北 海 道 帝 大 福 井 高 工 松 芳 郎 飯 島 俊 一 郎 本 嘉 三 郎 東 原 五 郎 石 井 健 三 男 嶺 原 義 雄 前 谷 逸 郎 西 堀 榮 三 郎
---------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	---	-------------------------------	---	---	---	---

## 歐 文 號

Duke Univ.	Texas Univ.	Melbourne Univ.	Deutschen Chemischen Gesellschaft
Colorado Univ.	Philips' Onderwijs en.	McGill Univ.	Franz Pietzcher.
Public Library.	Standard Oil Development Co.		New York
Abstracts.			L. G. Farbenindustrie. Chemical

文献集購讀料金 (年寄圓ニ付五拾錢御送金ノ方ハ不足額至急御拂込下サレ度シ)

立 會 板 岸 大 照	入 澤 倉 本 照	明 昌 武 原 井	木 近 藤 野 根	村 幸 一 禮 夫 良	飯 島 俊 一 郎 東 原 五 郎 石 井 健 次 男 嶺 都 宮 榮 三 郎 飯 島 俊 一 郎	山 口 克 彦 仲 田 山 坂 吉 小 野 弘	高 井 賴 元 多 羅 間 公 雄 西 川 正 公 健 二 郎 大 鋸 榮 二 郎 第 一 高 校
(以上昭和13年度分)	八 木 三 郎	飯 島 俊 一 郎	山 野 恒 太 郎	小 野 宗 三 郎	(以上昭和12年度分)		

# 日 本 化 學 會

(明治十一年四月東京化學會トシテ創立)

## 日 本 化 學 會 誌

月刊一冊金壹圓・一箇年前金拾貳圓(郵税共)

BULLETIN OF THE CHEMICAL SOCIETY OF JAPAN.

月刊一冊金五拾錢・一箇年前金六圓(郵税共)

購 讀 希 望 の 向 は 邦 文 會 誌 の 方 は

東京市神田區表神保町三 東 京 堂  
同 京橋區横町三丁目三 北 隆 館

に 申 込 ま れ た し。

### 日 本 化 學 會 規 則 摘 要

第 二 條 本會は化學の進歩及び普及を圖るを以て目的とす

第 四 條 會員は化學に密接なる關係を有する個人又は團體たるへし(以下略)

細則第二條 會員は下の資格の一を備ふへし

- 一 化學若しくは化學に密接の關係ある學科を修め又は有益なる研究論文を公にしたること
- 一 化學上顯著の成績を挙げ若しくは化學工場に在りて責任ある位置に立ちたること
- 一 化學に密接なる關係を有する法人又はこれに相當する團體たること

第 六 條 入會を望む者は會員二名の紹介を以て學歷等を記入したる申込書を會長に差出すへし、其の可否は常議會に於て之を決す

第 十 五 條 常會は會務報告及學術講演等の爲め四八兩月を除き毎月之を開く(以下略)

第 十 七 條 年會は(中略)毎年四月之を開く(以下略)

第 二 十 二 條 本會は毎月一回日本化學會誌を發行す、日本化學會誌は之を邦文及歐文の二種に分つ

細則第二十六條 會誌には報文、綜説、抄録、雜録、記事等の欄を設く但し歐文會誌は報文を主とす

第 二 十 三 條 會誌は會員に配布し且學術普及の目的を以て之を發賣す

第 二 十 四 條 會費は一箇年金拾圓とす

第 二 十 六 條 會費は入會認可の月より納むへし

細則第三十三條 會費は毎年四月及び十月の二期に於て半年分宛(四月より九月までの分を四月に、十月より翌年三月までの分を十月に)徴集す(以下略)

細則第三十四條 入會者の會費は實際月割を以て該期分を徴集す

入會希望者にして紹介者なきときは學業履歷及び現職を特に詳記して事務所へ申込まるべし



# 明治-大正-昭和の聖代に亘る化学的文献の調査 に必要な鍵は茲に全く完成す

財団法人 日本化学研究会 編集

## 日本化学総覧

新

### 第一集 第七卷 [大正14-15年の文献を収載す]

主幹 理学博士 眞島利行

刊

体裁 四六倍数・8ポイント密植・春皮天金 内容 本文586頁・索引203頁

定價 金拾貳圓五拾錢 送料 金四拾五錢 (内地)

新

刊

**日本化学総覧**は大正七年その編纂に着手せるにより約20年、啓明會、日本學術振興會其他各方面の援助を仰ぎ今般漸く第七卷の刊行を了し茲に明治-大正の化学的文献の抄録を完成せり。本邦に於ける一般化学の研究は勿論、化学工業・醫學・農學・藥學等に亘る廣汎なる研究の眞摯なる報告、特許等はその要粹を抄録して集載せり。故に我國の化学及び關係學術の大勢は一目瞭然たるものあり。化学的文献の探索竝に研究の進歩は本書により愈々能率的となるべく、化学に關係ある官衙、學校、會社、試験所は勿論、研究者、技術家諸賢は備へて以て自國の進歩を知ると共に、本邦特有の物資の研究利用に資せられ遺漏なからん事を勸奨す。

### 既刊出版物

#### 日本化学総覧 第一集 [明治・大正年間の化学的文献集録]

第一卷 [明10-13]・第二卷 [明34-41]・第三卷 [明42-大2]  
第四卷 [大3-6]・第五卷 [大7-10]・第六卷 [大11-15]

#### 日本化学総覧 第二集 [昭和以後の化学的文献を集録す]

第一卷 [昭1]・第二卷 [昭2]・第三卷 [昭3]  
第四卷 [昭4]・第五卷 [昭5]・第六卷 [昭6]  
第七卷 [昭7]・第八卷 [昭8]・第九卷 [昭9]  
第十卷 [昭10]・第十一卷 [昭11] × × ×

内容見本進呈

以上各卷 定價 ¥ 12.50 送料 ¥ 0.45 [但 外に限り定價 ¥ 9.50]

財団法人

日本化学研究会

仙臺市米ヶ袋上丁拾番地  
振替仙臺8158・電話仙臺3024

月刊 自然科学雑誌

# 科 學

編輯

安藤廣太郎 岡田武松 柴田桂太 大河内正敏 小泉 丹  
柴田雄次 橋田邦彦 坪井誠太郎 主任石原純

自然科学の進展目ざましく、學界の活躍益々盛んならんとする時、苟も之に心を寄する人々は自然科学全般の不斷の情勢を知るべき何等かの機關を必要とするであらう。

本誌は英の Nature, 米の Science, 佛の Revue Générale, 獨の Naturwissenschaften 等と使命を同じうするものであつて發刊以來8年の歳月を閲し、茲に全く我國唯一の一般自然科学雑誌としての内容・體裁・權威を具ふるに到つた。學徒諸士は本誌によつて初めて各自に必要な視野を得られるであらう。

## 6 月 號 内 容 梗 概

### 巻 頭

學術振興の爲に

### 寄 書

地磁氣永年變化の日本に於ける觀測に就て (篠原長之), 大きな湖水の形 (甲斐好胤), 生理的中性温度にある温血動物 (白甘鼠) 體内に於けるメチルアルコールの燃焼 (江上不二夫), 4月16日の磁氣嵐 (今道周一), 水性瓦斯發生の電氣的方法 (小林信博), 磁氣光に現はれる火花スペクトル線の Stark 效果 (古市二郎・堀健夫), NaOH 溶液中に於ける纖維素の舉動 (齋藤義一), KOH 溶液中に於ける纖維素の舉動 (齋藤義一), LiOH 溶液中に於ける纖維素の舉動 (齋藤義一), エントロピーの簡単な導き方 (杉田元宜), 津輕の *Pseudocrangonyx* (石幡貞二)。

### 抜 萃

Physikalisch-Technische Reichsanstalt の50年間の進歩

### 論 述

湯川 秀 樹: 新粒子論 (II)

辻野 鶴 松: 東洋古代金屬文化史の化學的研究 (I)

### 學界展望

武藤俊之助: 合金の量子論的研究 (II)

小 泉 丹: 大絲狀蟲 (*Dirofilaria immitis*) の發育及び感染の研究に就て  
原子量 (1938) 及同位元素表 (1937年末迄)

### 科學雜纂

鳥居龍藏: ブラジルの人類學

### 學會往來

日本數學物理學會年會・日本化學會年會・日本植物學會第6回大會

新刊書—研究抄録—科學時事—學會及個人消息

發 行 所 東 京 市 神 田 區 一 ツ 橋 ニ ノ 三 岩 波 書 店

定 價 5 0 錢 (送料 2 錢)

半年分 ¥3.00, 一年分 ¥5.90 (増刊號, 送料共)

電話九段(33)代番0187(4)

振替口座東京 26240

編輯

財団法人理化学研究所  
研究員・理學博士

仁科芳雄

## 量子物理學

全 八 卷  
會 員 募 集

・ 規 定 ・

全 8 卷 菊判洋綴美裝各科目毎  
に分冊函入 毎卷平均  
350頁以上

會 費 (各 卷) 3圓50銭

送 料 6銭(市内) 14銭(地方)

(内容見本進呈)

量 子 力 學 (概 論)

量 子 力 學 (各 論)

原子スペクトル及分子スペクトル

量 子 化 學 (化學反應)

量 子 化 學 (原子價と化學反應の理論)

量 子 化 學 (分子構造論)

固 體 性 質 論 象 線 素 線

磁 場 突 現 論 象 線 素 線

同 位 素 理 論 象 線 素 線

原 子 核 物 理 學 (實 驗 論)

宇 宙 線

重 量 子 物 理 學 と 天 文 學

過去四十年間に於る物理學上の進展は、眞に一轉期を劃するものであつて、將來の科學史上永遠に記憶せられるものであらう。そして其影響は物理學、化學、工業等無機物の領域を超えて生物學、醫學の範圍に及び、更に吾人の抱く思想、觀念をも左右しやうとしてゐる。以て其の人類文化上に於ける基礎の深さを窺ふに足るものがある。

今や吾國は未曾有の重大時局に直面し、あらゆる方面に國力の擴充を要求せられつゝある。茲に量子物理學の各部門に亘り本講座を刊行する所以のものは、自然界の認識を深め我が科學の基礎を培はんが爲であつて、量子物理學の充分なる咀嚼體得は、更に新しき物理學への飛躍を準備し、科學産業の諸分野への應用を旺んらしむるものと信ずるからである。本講座に依り聊かなりとも此目的を達成し、我國文化に貢獻する所あらば、欣快これに過ぐるものはない。

## 全 八 卷 ・ 内 容

理化學研究所研究員	理學博士	仁科芳雄	雄郎郎雄稔彦夫郎雄二雄郎助司夫勇士夫勝魁雄廣征郎雄三
理化學研究所研究員	理學博士	小 太	
理化學研究所研究員	理學博士	芳 太	
理化學研究所研究員	理學博士	小 振	
理化學研究所研究員	理學博士	科 山	
理化學研究所研究員	理學博士	永 科	
理化學研究所研究員	理學博士	林 木	
理化學研究所研究員	理學博士	岡 中	
東京帝國大學教授	理學博士	木 々	
東京帝國大學教授	理學博士	谷 島	
東京帝國大學教授	理學博士	藤 田	
東京帝國大學教授	理學博士	佐 小	
東京帝國大學教授	理學博士	水 武	
東京帝國大學教授	理學博士	茅 堀	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 仁	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 杉	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 梅	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 石	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 竹	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 關	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 千	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 一	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 中	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 涉	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 利	
東京帝國大學教授	理學博士	堀 中	

發 兌

東京市神田區駿河臺3丁目九  
振替東京46074番合資  
會社

共 立 社

豫約會員募集

# 觸媒化學講座 全七卷

## ◇熒煌燦として輝く本講座の意義と其使命◇

自然界に於ける多くの現象が、接觸反應に依て行はれて居ることは、動植物の生活現象が觸媒の一種たる酵素の作用に基くことに依ても判る。斯の如き酵素の作用は各種の化學工業、例へば酒精、麥酒、清酒、葡萄酒、醬油等を總括する醸造工業より更に進では各種の有機酸、アセトン、高級アルコール、酸酢グリセリン等の化學工業に亘て應用されて居る。然るに吾人は今日酵素の本體並に作用理論に關して知る所が極めて少いのである。

更に最近に於ける多くの重要な化學反應が、觸媒の作用に依て工業化し得る條件に適合するに到つた合成アンモニア、合成メタノール、合成ガソリン、石炭液化、硬化油、合成醋酸の如き其例である。而して又殆ど凡ての化學工業に於ては、その工業の一部に觸媒の作用を利用すると云ふも過言ではない。石油工業、ゴム工業、香料工業、染料工業、塗料工業、脂肪酸工業、合成樹脂工業、硫酸工業、其他の無機藥品工業及び有機藥品工業等皆然りである。

斯の如き化學工業の赫々たる發達にも拘らず、其の基礎をなす所の觸媒の理論に關しては、極めて遅々たる進歩を見るのみである。近き將來に於ても觸媒の理論に頓着なく、化學工業上の觸媒の應用は、經驗及び實驗の結果に依り益々急速なる進展を續けるであらう。而して其後に於て結局は觸媒理論に導かれる所の化學工業の發展が來るであらう。

從て從來の數多き觸媒應用の現實の事實を網羅總括する事、並に是等を研究考査する事は、以上の經驗及び實驗に依て觸媒を工業的に應用する上にも、又觸媒の理論的研究の上にも共に缺く可らざる事である。此の意味に於て本講座に貢獻する所頗る大なるものがあると思ふ。(東京帝國大學工學部應用化學科教室工學博士田中芳雄教授推薦文より)

## ◇堂々完璧を誇る觸媒化學全貌の闡明と理論的研究◇

監修

京都帝國大學  
教授理學博士  
京都帝國大學  
教授理學博士堀場 信吉  
久保田勉之助京都帝國大學  
教授工學博士  
京都帝國大學  
教授工學博士喜多 源 逸  
松井元太郎

## ◇御申込の要項◇

◇價 格 各巻金 3 圓也  
全 7 巻 21 圓也◇送 料 内地 1 錢、  
臺灣 34 錢、朝鮮 滿  
洲 54 錢。◇申込方法 申込金はいり  
ません。

即時最寄の書店、デパート又は直接發行所へ御申込下さい。直接發行所への御申込は振替にて會費と送料を添へて御申込下さい。

◇刊行期日 昭和13年3月  
より昭和13年9月迄7ヶ月完結、毎月1回1巻宛配本の豫定。

發行所

東京市神田區  
小川町2の12

尚 賢 堂

電話神田 2264 番  
振替東京 53436 番

- 第1巻 觸 媒 作 用 の 理 論 堀場 信吉著
- 第2巻 有機化學接觸反應に於ける觸媒反應 久保田勉之助著  
に於ける工業的諸問題 内田 俊一著
- 第3巻 硫酸製造法 松井元太郎著  
アセチレン誘導體品 渡邊 卓著  
有機酸化學 桑 田 勉著
- 第4巻 アンモニア合成 柴田勝太郎著  
メタノール合成 佐々木一雄著  
ホルマリン合成 藤村 建次著  
アミンモノア酸 吉村倫之助著  
熊谷直記著
- 第5巻 合成石油 三井 啓策著  
水性瓦斯反應油 山口 昌三著
- 第6巻 石炭液酸化 坂口謹一郎著  
タール水素添加
- 追 卷 酵 素 京都帝國大學教授 堀場 信吉

の動向及應用化學工業發達の眞髓を衝く!!

御申込は最寄の書店  
又は直接發行所へ!!(第1巻及び第3巻  
發 賣 中)御申越次第  
内容見本謹呈

多年の経験と最新設備の  
完備せる印刷所を御利用下さい

京都市柳馬場三條

# 株式會社似玉堂

(京都官報販賣所)

## 營業科目

各種出版物印刷  
和洋帳簿製造  
活版、石版印刷  
オフセット印刷  
三色版印刷  
コロタイプ印刷

電話本局

長

四四二番  
四四二番  
四五〇番  
四五〇番

振替口座

大東二番  
大阪二番  
東京三番  
京都一五二番

電信略語

(ジ)

主 筆 工學博士 喜 多 源 逸

一冊 40 錢  
(送料 3 錢)

月 刊 化 學 評 論

前金 一年 4 圓  
(送料共)

第 4 卷 第 5 號

- [121] 溶液吸收スペクトルより見たる有機分子化合物 (IV) …工學博士 堀 尾 正 雄  
[122] 合成螢光體とその應用 (II) …射 和 三 郎  
[123] 長鎖化合物及び長側鎖化合物の合成 …紀 喜 一 郎

第 4 卷 第 6 號

- [124] Divinyl acetylene …松 井 悅 造  
[125] アセチレンより醋酸の合成法 (II)  
アセトアルデヒドの酸化 …工 學 士 角 谷 清 明  
[126] エチル纖維素及び其性質に就て …上 野 昭 雄  
[127] 英國に於ける纖維素エステル及びエーテル工業 …上 月 榮 一  
[128] 工業用瓦斯中の硫黄化合物の分析法 …工 學 士 舟 阪 渡

化 學 評 論 社

編 輯 所

京 都 市 吉 田 京 都 帝 國 大 學  
工 業 化 學 教 室 喜 多 研 究 室  
電 話 上 九 八 〇 番 (學 內 十 九 番)

發 行 所

大 阪 市 西 區 京 町 堀 通 一 丁 目  
電 話 土 佐 堀 二 四 〇 ・ 四 六 八 番  
振 替 口 座 大 阪 一 七 六 一 三 番

理 化 學 器 械 ・ 醫 學 用 器 械

- ◇ 電 氣 化 學 器 械  
◇ 特 殊 高 級 器 械  
◇ 石 英 水 銀 燈  
◇ バ イ レ ツ ク ス 製 品

山 下 製 作 所



京 都 市 左 京 區 吉 田 本 町 32 番 地  
電 話 ・ 上 ③ 1957 振 替 ・ 大 阪 74984

特 殊 御 注 文 品 製 作

## 吾國に於ける物理化學研究の海外紹介に就て！

日本物理化學研究會に於てはその機關誌「物理化學の進歩」によつて、本邦に於ける物理化學研究の概要を廣く世界に紹介することをその使命の一つとして居ります。之が爲、歐文號を刊行し、Originalsと共に Abstracts を掲載し、此の Abstracts によつて本邦に於ける物理化學研究を除す所なく抄録し度いと考へて居ります。

その抄録方法は日本化學總覽の物理化學の部に掲載されたる論文の著者より直接原稿を戴いて居りますが、1937年以降發表の論文著者にして、日本化學總覽の物理化學の部以外に掲載されたる方及び化學總覽に未發表にして速に海外發表を希望せられる方は此旨附記の上事務所宛原稿をお送り下さい。

原稿規定……………英文、タイプライター用紙<sup>2</sup>段送り、1頁以内のこと。

## 物理化學の進歩歐文號 ◆年3回發行

# THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

本誌は吾國に於ける物理化學の研究を廣く世界に紹介する目的を以て各國の著名なる大學、研究所、學者に頒布す(1000部發行)。本誌の内容は、原報及び抄録の二に分れ、原報は「物理化學の進歩」掲載論文を集め、抄録は1937年以降の吾國に於ける物理化學關係の報文全部に對し、その英文抄録を網羅せるものなり。

定價 1部80錢(送料6錢) 年2圓(送料共) 海外年1弗(送料共)

昭和13年6月25日印刷

昭和13年6月30日發行

編輯兼發行者

印刷者

印刷所

物理化學の進歩

第12巻 第3輯  
(隔月刊行)

堀場 信 吉

京都帝國大學物理化學研究室

福井 松之助

京都市中京區神馬場三條南

株式會社 似玉堂

京都市中京區神馬場三條南

定價 60錢 (送料6錢)

購讀會員會費 1年分3圓 (前金、送料共)

發行所 日本物理化學研究會

京都帝國大學  
物理化學研究室内 振替・京都6047番

發賣所 岩波書店

東京市神田區一ツ橋二ノ三

丸善株式會社京都支店

京都市中京區三條數馬町

◆ 本誌に關する批評、注意、要求等は京都帝國大學物理化學研究室内、田村幹雄宛に願ひます。